



たくさんのこども達が、発酵の学びを深めるため来街しています。醸造・発酵の文化が芽生えた摂田屋エリアの歴史から、現在（いま）の宮内・摂田屋エリアでの出来事を「発酵」をキーワードに事業説明を実施しています。

持続可能な社会の実現、また、その社会をこども達に示し継承するのは大人の役割であると思います。そして、軸になるのは「発酵」であると考えています。昨今、それらの実現のために提唱されるそれぞれの事柄が随分と横に広がり、やらなければならぬことが多岐に渡っているような印象を受けます。こども達に話すのは、縦に広がりすぎた軸を、縦にして考えてみようという問いかけています。自分が、自らのこどもが、孫たちが営み豊かに続けていくためには、例えば弊社が農業高校と取り組んだ無農薬米の栽培です。微生物を多く含んだ土を使うことでそれは実現できました。そして、向後も微生物の活躍による発酵のプロセスにより豊かな土壌が持続されます。「発酵」、こども達とより一層と学びを深め、共有して参ります。

発酵を学ぶ。上越市立南本町小学校のみなさま、ご来街。

HAKKO

Vol.

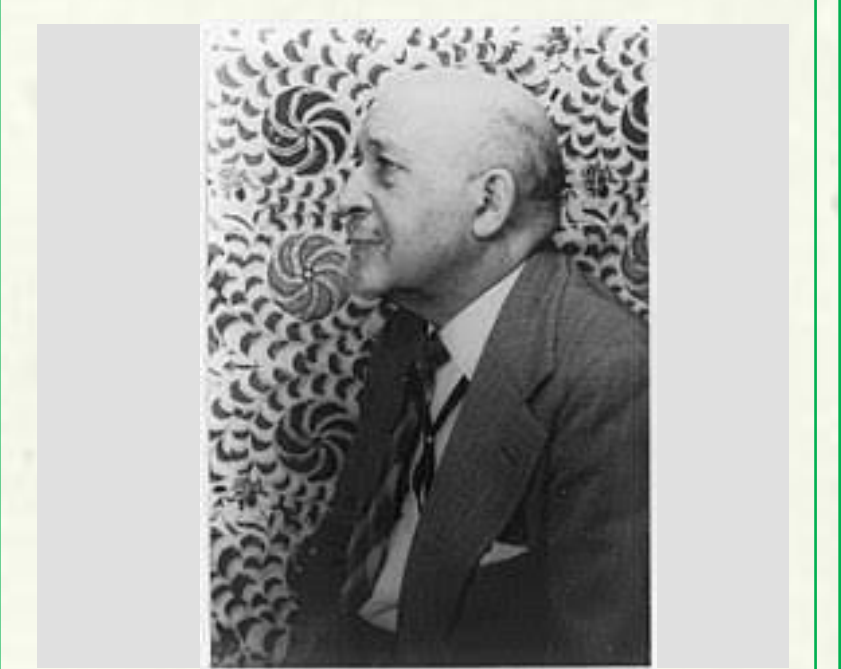
11

2022.08

かわら版

ミライ発酵本舗

近者悦、遠者来



子どもはあなたが教えることより、あなたの人となりから多くを学ぶ。
W.E.B. DUBOIS

経験を積んだ大人の知恵とは、何事にも率先垂範する姿勢にあるのかもしれない。ひげらかさず、過去の出来事から自由になった時こどもたちとの対話がうまれるのでしよう。

宮内摂田屋 method
ミーティング

宮内駅を拠点としてエリアデザインをすすめるため、定期的に地域の若いステークホルダーが集まりミーティングを重ねています。今回、東日本鉄道長岡駅管轄の皆様からも参加していただき、街へのみちづくりについて議論を深めました。モータリゼーションに依存しなければならぬ実情がある中、それでも街歩きを推奨したい想いがあります。近く、人々が行き交う街の姿がリボンされます。

まぎる、
つながる、



ミュージックサフラン

フレンチアコーディオンは楽器自体の形状・色彩が豊かで見た目の美しい楽器です。同時に、奏でられる音色もやはり色彩豊か。なぜなら、同音と倍音の連続的な発声により、実際に鳴っている音がひとつではないことがよく解る楽器だからなのです。どこか、ぶくぶくとした発酵のプロセスにも似たような重層的な独特の魅力をもった楽器。音も発酵しています。



アコーディオン 田中トシユキ
ピアノ 細木久美

音・発酵